

令和元年（2019）6月17日～6月20日

令和元年度（2019）

第2回出雲市議会(定例会)
一般質問通告一覧表

令和元年度（2019）第2回出雲市議会（定例会）
一般質問通告一覧表 目次

6月17日（月） 10:00 開会			6月18日（火） 10:00 開会			6月19日（水） 10:00 開会			6月20日（木） 10:00 開会		
順番	議員氏名	ページ	順番	議員氏名	ページ	順番	議員氏名	ページ	順番	議員氏名	ページ
1	川光秀昭	3	1	岸道三	9	1	湯浅啓史	15	1	伊藤繁満	23
2	山代裕始	4	2	錦織稔	10	2	後藤由美	16 ～ 17	2	渡部勝	24
3	大場利信	5	3	保科孝充	11	3	宮本享	18	3	板倉一郎	25
4	飯塚俊之	6	4	大谷良治	12	4	原正雄	19	4	本田一勇	26
5	福島孝雄	7	5	児玉俊雄	13	5	玉木満	20			
6	今岡真治	8	6	山内英司	14	6	神門至	21 ～ 22			

質問者	5 川 光 秀 昭
質問事項・質問内容	
(1) 市営住宅の賃貸に係る費用は適正か	
<p>① 一般的に、賃貸住宅を借りるために必要とする「家賃」は、その特性から非常に分かりやすく、建築年数や間取り、位置などで規定され、その物件の価値を客観的に表しているとも考えられる。一方、これだけで居住が出来るわけでは無く、「管理費」や「共益費」が加算される場合がほとんどである。出雲市の公営住宅においては、「自治会費」としてすべてを包含して、一括で自治会費として徴収している団地も見られる。</p> <p>出雲市の公営住宅について、その管理や賃貸料金等について質問します。</p> <p>ア 公営住宅の設置の目的</p> <p>イ 公営住宅の概要（団地数、間取り、家賃など）と家賃の算定方法</p> <p>ウ 公営住宅に居住するのに必要な家賃以外の経費と徴収者</p> <p>エ ウの経費を利用者が住宅を選択する際に確認する方法</p>	
(2) 介護職員の処遇改善は進んでいるか	
<p>① 少子高齢化に伴い、出雲市でも高齢者の人口は増加しているが、介護施設などは市の計画に従って増加傾向にある。一方、労働力人口は不足しており、3月期の有効求人倍率も1.74と一時よりは改善したものの、依然として高い値で推移している。施設の内には、介護職員の手配が出来ないため、フル稼働できていない場合も見られるようになってきた。</p> <p>介護職員の確保に、外国人労働者を充てるための制度が新たに施行された。しかし、地方の自治体として、このままの待遇では、この制度を利用しても介護人材の質や量について期待を寄せることは難しい。出雲市の介護職員の処遇について、現状の施策について質問します。</p> <p>ア 出雲市の介護職員の従事者数と求人倍率</p> <p>イ 出雲市の今年度以降の介護施設の増床計画と必要とする介護職員の数</p> <p>ウ 介護報酬上での職員の処遇改善</p> <p>エ 介護職員の処遇改善に関する出雲市の施策</p> <p>オ 介護職員を補助するロボット等の必要性和出雲市での導入数と今後の予定</p>	

質問者	30 山代裕始
質問事項・質問内容	
(1) 老老介護支援事業について	
<p>① 出雲市では、老老介護世帯の介護負担軽減のため老老介護支援事業を実施されているが、市民の方から制度の内容がよく分からない、サービス券が使える事業所が少ないなどという声を聞いた。 そこで次の点について伺います。</p> <p>ア 事業開始の経緯や目的は何か。事業の対象世帯の要件など事業内容はどのようなものか。</p> <p>イ サービス券が使える内容及び事業所は決まっているか。また、対象事業所を拡大する取組みを行っているのか。</p> <p>ウ この事業についての住民への周知はどのように行っているのか。対象となる世帯数や券の利用枚数などの実績は。</p>	
(2) 幼児教育無償化について	
<p>① 幼児教育の無償化にともない、その制度の概要と今後の展望について</p> <p>ア 幼児教育無償化に向かった背景と制度の目的について</p> <p>イ 無償化の対象となる子どもについて</p> <p>ウ 全ての費用が無償化される訳ではないと聞いているが、適用される範囲について</p> <p>エ 待機児童数への影響について</p> <p>オ 市財政への影響について</p>	

質問者	18 大場利信
質問事項・質問内容	
(1) 介護分野における人材確保策について	
<p>① 介護現場での人手不足は依然として続いており、現場の経営者から、職員体制が取れないため事業所の開設がままならない、十分な介護体制が取れないなどの話をよく受けます。2025年問題も絡めて今後の大きな課題であると考えます。このような観点から出雲市における介護分野における持続的な人材の確保策について伺う。</p> <p>ア 出雲市における介護人材の需給状況を伺う。</p> <p>イ 介護福祉士を目指す日本人学生への修学資金貸付事業についてその概要を伺う。</p> <p>ウ トリニティカレッジで学ぶ外国人留学生の介護分野への態勢および支援策の一環として、日本語学科の介護進学コース（1年）の授業料の支援について伺う。</p> <p>エ 出雲市の労働資源として介護分野の方から注目されている在住の日系ブラジル人への支援策として、市内の就労をサポートするセンターで、日本語教育と日本人による個別サポーターによる介護のOJT（仕事に就きながらの訓練）を行い、これに要する経費を行政と介護事業者が支援しようとするものです。市、介護事業者あるいは養成施設とによる人材確保の連携体制を検討すべきと考えますが、これについて見解を伺う。</p>	
(2) 暗い通学路の解消を	
<p>① 通学路が暗いとの意見が市民の方から言われております。また、中学生議会でも質問が出ております。特に、部活動等で遅くなる中学生の通学路の安全対策について、以下伺います。</p> <p>ア 設置基準および経費負担について伺う。</p> <p>イ 通学路の防犯灯の過去5年間の申請と設置の状況について伺う。</p> <p>ウ 過去5年間の申請に対する各地域ごとの設置率とこれに対する防災安全部長の見解を伺う。</p> <p>エ 教育委員会として、日照時間の短い時期の暗い通学路での下校について各学校にどのような指導をしておられるか伺う。</p>	

質問者	21	飯塚俊之
質問事項・質問内容		
(1) 国営宍道湖西岸農地整備事業について		
① 事業の目的・内容・効果 ② 地域の取り組み ③ 事業のスケジュール ④ 地域への波及効果		

質問者	15 福島孝雄
質問事項・質問内容	
(1) 障がいのある人達のための成人式について	
<ul style="list-style-type: none"> ① 出雲市の今年度の新成人者数と其の内の「障がい者」の人数を伺う。 ② 過去の成人式での「障がい者」の出席率を伺う。 ③ 障がいのある人達の新成人を祝う「もうひとつの成人式」について伺う。 <ul style="list-style-type: none"> ア 他自治体の状況。 イ 社会福祉協議会及び、各障がい者施設、保護者からの要望。 ウ 出雲市としての考え及び、開催する上での課題。 	
(2) 「食品ロス削減推進法」成立をうけての取り組みについて	
<ul style="list-style-type: none"> ① 「食品ロス削減推進法」のポイントについて伺う。 <ul style="list-style-type: none"> ア 多様な主体を連携させ「国民運動」としての推進の具体策。 イ 基本方針策定後の市に於ける削減推進計画策定担当部局。 ウ 消費者・事業者への啓発。 エ 10月の「食品ロス削減月間」に向けての企画。 ② 出雲市のフードバンクの取り組みと支援策を伺う。 <ul style="list-style-type: none"> ア 市民・企業・各種団体からの食糧提供数と必要数。 イ フードバンク活動の周知。 ウ 市としての支援策。 ③ 「30・10」運動の更なる推進について伺う。 	

質問者	1 今岡真治
質問事項・質問内容	
(1) 不妊治療を受ける方の支援体制の充実について	
<p>① 不妊治療を受ける方の支援の現状について伺う。</p> <p>ア 治療費等の助成事業の概要と助成件数。</p> <p>イ 相談体制について。</p> <p>② 働きながら不妊治療を受ける方は増加傾向にあると考えられ、不妊治療と仕事の両立支援が必要であると考えますが、所見を伺う。</p>	
(2) 高齢者の運転免許証自主返納について	
<p>① 運転免許証自主返納の現状について伺う。</p> <p>ア 出雲市における、自主返納者数の推移と免許返納についての支援状況。</p> <p>イ 県内各市の免許返納についての支援状況。</p> <p>② 車社会である出雲市において、高齢者の運転についての課題は何か伺う。</p>	

質問者	10 岸 道 三
質問事項・質問内容	
(1) 出雲市中小・小規模企業振興モデル事業の実施について	
<ul style="list-style-type: none"> ① 市内中小企業・小規模企業における課題と特徴 ② 検証体制と新たな事業創出の必要性 ③ モデル事業に期待すること 	
(2) 保健・福祉施設の拠点整備の必要性について	
<ul style="list-style-type: none"> ① 健診が行える専用施設の必要性 ② 出雲市としての社会福祉協議会の位置づけ ③ 保健・福祉の複合的機能を持つ拠点施設整備の必要性 	

質問者	7 錦 織 稔
質問事項・質問内容	
(1) 若者をはじめとする有権者の投票率向上の取り組みについて	
<p>① 期日前投票所の設置について伺う。</p> <p>ア 期日前投票率の傾向と今後の予測</p> <p>イ 移動投票所を設置する考えはないか</p> <p>ウ 大学、大型店舗など、新たに期日前投票所を設置する考えはないか</p> <p>② 投票所入場整理券に宣誓書を印刷する考えはないか伺う。</p>	
(2) 観光危機管理の充実について	
<p>① 「地域防災計画」に観光旅行者に対する避難場所・避難経路などの計画が定められているか伺う。</p> <p>② 「地域防災計画」に外国人観光客へ情報伝達に関する事項が整備されているか伺う。</p> <p>ア 災害情報の多言語化の整備状況</p> <p>イ 外国人をはじめとする観光客に対する避難所の運営</p> <p>③ 災害時における宿泊施設との協定は出来ているか伺う。</p>	
(3) 横断歩道の道路標示について	
<p>① 横断歩道の点検方法と状況を伺う。</p> <p>② 塗装の劣化を判断する指標を伺う。</p>	
(4) 出雲ドームに洋式トイレの増設を	
<p>① 出雲ドーム内の洋式トイレの増設について、市の見解を伺う。</p>	

質問者	20 保科孝充
質問事項・質問内容	
(1) 自治会加入状況と加入促進について	
<p>① 主として新興住宅地域では自治会の加入率が低下し、地域の連帯感が薄れつつありますが、加入状況と今後の加入促進についての考えを伺います。 また、加入率は、人口の増減が大きく関与すると思いますが、住民基本台帳における、人口推移との関係について伺います。</p> <p>ア 各地域の加入率</p> <p> a 市全体で加入率の高い自治協会、低い自治協会5か所程度</p> <p> b 斐川地域7自治協会の10年前との比較</p> <p>イ 加入促進についての実態</p> <p> a 市としてどのような取り組みをされてきたか</p> <p> b 平成27年に「出雲市自治会等応援条例」が制定されて以来、その効果を伺う</p> <p>ウ 自治協会での取り組み状況の実態</p> <p> a 特徴のある自治協会での実施状況（例えば高齢者に配慮した施策）</p> <p>エ 人口増加率・減少率と加入率の相関関係について</p> <p> a 住民基本台帳人口この10年間の増減率と加入率の推移（5か所程度づつ）</p> <p>オ 加入率上昇に向けた今後の施策</p>	

質問者	9 大谷良治
質問事項・質問内容	
(1) ひきこもり等に関する施策について	
<p>① 出雲市での「ひきこもりの状態の方等」の現状把握について</p> <p>ア 出雲市ひきこもり相談窓口および子ども・若者支援センター、高齢者あんしん支援センターへの相談件数（15歳から40歳・40歳以上で、仕事や学校に（就）行けず、外部交流がなく自宅にひきこもり状態と推察される方、家族等から支援などについて相談等）</p> <p>② 社会復帰にむけての就労支援等</p> <p>ア 支援の成果（就労、体験、復学等）</p> <p>イ 今後の取り組みと課題</p> <p>③ ひきこもり等に関する施策について県との連携</p> <p>ア 現状と取り組むべき課題</p>	

質問者	6 児 玉 俊 雄
質問事項・質問内容	
(1) 高齢者等の移動手段の確保対策について	
<ul style="list-style-type: none"> ① 医療機関による患者の送迎及び往診の実施状況を伺う。 ② 「自家用車タクシー」に対する規制緩和の状況と見通しを伺う。 ③ 特区制度等によって「自家用車タクシー」に取り組んでいる自治体があるが、把握されている情報があれば、評価も含めてご教示願いたい。 ④ 斐川地域の「まめながタクシー」の概要を伺う。 ⑤ 「まめながタクシー」をはじめ佐田、多伎でも高齢者等の外出支援事業が実施されているが、コスト面での比較はどのようになっているのか。併せて、福祉バス、生活バスについても事業費総額、キロ単価、運賃収入等を伺う。 	
(2) 縦割りの解消と地域特性を重視した組織づくりについて	
<ul style="list-style-type: none"> ① 近年の庁内プロジェクトチーム等の設置状況とその評価を伺う。 ② 今後、プロジェクトチーム等横断的な組織を拡充する考えはないか伺う。 ③ 縦割りの解消とともに地域特性を重視した組織づくりを進めるべきと考えるが、所見を伺う。 	

質問者	3	山内英司
質問事項・質問内容		
(1) 出雲の海魅力発信事業について		
① 出雲の海魅力発信事業の「出雲の海応援隊」について伺う。 ア 事業内容について伺う。 イ 隊員の募集方法・参加条件について伺う。 ウ 期待される効果について伺う。		

質問者	1 1 湯 浅 啓 史
質問事項・質問内容	
(1) 新体育館建設と旧体育館除却の考え方と費用について	
<p>① 平成27年3月に策定された「出雲市公共施設のあり方指針」により、「出雲体育館」「平田体育館」「斐川第2体育館（旧西中体育館）」は廃止に向けた取組を行う事とされた。</p> <p>平成28年3月に策定された「出雲市公共施設等総合管理計画（平成28年度～平成37年度）」では、公共施設の延床面積の2割削減が大きな目標とされた。</p> <p>現在、出雲市スポーツ振興審議会において、新体育館建設基本計画が検討されている所だが、新体育館建設の議論と同時に廃止の方針となった旧体育館（3体育館）の除却、そして跡地の事柄についても平行して議論しなければならないと考える。</p> <p>そこで、以下の点について回答願いたい。</p> <p>ア 新体育館の建設と旧体育館（3体育館）の除却は、それぞれどの程度の予算が必要となるのか</p> <p>イ 新体育館の建設と旧体育館（3体育館）の除却は、それぞれどのような財源を利用して行おうとしているのか</p> <p>ウ 新体育館の建設と旧体育館（3体育館）の除却とは切り離し、個々の計画とすることができるのか</p> <p>エ 新体育館供用開始の予定日</p> <p>オ 旧体育館（3体育館）の除却の予定日</p> <p>カ 旧体育館（3体育館）除却後の方針策定時期</p>	

質問者	4 後藤由美
質問事項・質問内容	
(1) 国の農業政策のあり方について	
<p>① 農業は、国民に安心・安全な食料を提供するとともに、国土・環境を守る役割を担っています。しかし現状は農家の高齢化、担い手減少で、「このままでは地域がなくなってしまう」という不安も各地で広がっています。また、国の輸入自由化路線が止まらず、先進諸国で最低の食料自給率は38%まで低下しました。今、「国民の食料をだれが生産し、国土や環境はだれが守るのか」について真剣に取り組むときです。</p> <p>そこで、伺います。</p> <p>ア 安倍首相は4月末の日米首脳会談で、トランプ大統領から「農産物に課されている関税を撤廃したい」という要求を突きつけられました。また5月末にも会談をし、日米FTA（自由貿易協定）についてトランプ大統領は「8月末に大きな発表ができる」と明言しました。TPPでは重要品目の多くで関税を削減・撤廃、日欧EPAではTPPでは除外された物の関税撤廃に応じ、今後この日米FTA交渉を進めれば、コメで言えば、輸入枠がアメリカの要求にそってさらに引き上げられる可能性があり、日本の農業と食料に打撃をもたらすと考えます。これら、今の安倍農政について、市長の認識を伺います。</p> <p>イ 世界では、これまで主流だった大規模化・企業化、化学肥料・農薬の大量使用から、小規模・家族農業に光を当て、手厚い支援を行うことで飢餓や貧困の克服、持続可能な発展、環境の保全をはかる流れに転換がすすんでいます。そこで家族農業・小規模農業の役割を重視し、各国が支援をしようと、今年、国連が呼びかけ「家族農業の10年」（2019～2028年）がスタートしています。これには日本も賛成をしており、これこそ大切に農政発展の道と考えますが、市長の認識を伺います。</p> <p>ウ 農業と農村の再生に何より必要なのは、農産物の価格保障を中心に所得補償を組み合わせ生産費をカバーすることですが、昨年度から「米の直接支払交付金」が廃止されました。農家所得の減少に直結するものです。これにともなう市の影響と対策について伺います。</p>	
(2) 中山間地域と農業を維持・発展させるための課題について	
<p>① 「5年後・10年後、この地域がどうなっているか心配」「コメで儲けることはできないが、田を続け、この景観と国土を守りたい」。これらが、中山間地域農業の農家の声です。安倍農政は農業の「競争力強化」「成長産業化」をいい、大規模化や企業参入を強調し中山間地域の家族農業を支援の対象から閉め出そうとしています。国の方針と市内の現場の実態は大きく乖離していると考えます。</p> <p>ア 中山間地域農業を守り、発展させるための施策として「中山間地域等直接支払制度」などがありますが、昨年度から始まった「新出雲農業チャレンジ事業」は、事業も限られ、採択件数も少なく、支援が不十分と考えます。中山間地域農業、とりわけ条件不利と言われる地域や農家を維持・発展させるための施策をさらに拡大すべきと考えますが、所見を伺います。</p> <p>イ 草刈りについてです。「農地に接している官地全部やってほしい」。農家の悲鳴です。労働力の大変さと同時に、経費の大きさも問題になっています。現在ある事業では到底市民の要望にはこたえられていません。農業を担い、国土を守り維持している皆さんに対する思い切った支援が必要ですが、所見を伺います。</p>	

ウ 離農者の農地や農作業を引き受けて頑張っている大規模経営者や営農組合は、地域の農業を一気に担い、農業と地域を守りなくてはならない重要な役割を果たしています。しかし、営農組合も後継者がおらず、今後の不安を抱えておられます。「営農組合の広域連携」「田の集約化」が困難な事態が広くあります。一つ一つの営農組合の声をじっくり聞き、それぞれの地域にあった施策をうつべきと考えますが、所見を伺います。

質問者	31 宮本 享
質問事項・質問内容	
(1) 出雲市における高齢ドライバーの現状について	
<ul style="list-style-type: none"> ① 高齢ドライバーによる事故等の状況 ② 運転免許証の自主返納の状況 ③ 自主返納者へ対する支援状況 	
(2) 上塩治スポーツセンターについて	
<ul style="list-style-type: none"> ① これまでの利用状況 ② 2階への昇降について ③ 今後の管理運営について 	
(3) 簸川南広域農道について	
<ul style="list-style-type: none"> ① 県道昇格に向けた進捗状況 	

質問者	16 原 正 雄
質問事項・質問内容	
(1) 特別天然記念物「トキ」の出雲市一般公開について	
<ul style="list-style-type: none"> ① 一般公開の役割と目的 ② 一般公開の案内について <ul style="list-style-type: none"> ア 公開前日及び公開当日の催しの内容と周知方法 イ その後の催しの計画 ウ 公開の場所の案内板等周知の方法 ③ トキによるまちづくりに向けた今後の取り組みについて 	

質問者	2 玉 木 満
質問事項・質問内容	
(1) 臨時休館中の宍道湖公園湖遊館について	
<ul style="list-style-type: none"> ① 宍道湖公園湖遊館の概要について <ul style="list-style-type: none"> ア 施設の概要 イ 利用形態及び状況 ウ 湖遊館の特徴 ② 利用中止と今後について <ul style="list-style-type: none"> ア 現在の状況 イ 利用中止による影響 ウ 今後の対応 	

質問者	1 2 神 門 至
質問事項・質問内容	
(1) インフルエンザなどの任意予防接種費用の助成について	
<p>① 毎年、市内の保育所、幼稚園、小・中学校では、1月頃をピークにインフルエンザなどの感染症が発生し、多くの幼児・児童への感染により、休園や学級閉鎖が余儀なくされる中、保護者はその対応や医療費などへの不安が山積しています。一方、市が負担する医療費も増加する中、その予防対策の一つとして予防接種の制度化を図るべきと考えます。そこで、次のことについて市の考えを伺います。 尚、数値の対象期間は、平成30年11月1日から令和元年5月31日までの数値をお願いします。</p> <p>ア インフルエンザによる保育所、幼稚園、小・中学校の施設（学校など）別の欠席者数（患者数・出席停止者数など）について伺います。 ※ それぞれの施設別のピーク時の状況もご答弁下さい</p> <p>a 保育所では b 幼稚園では c 小学校では d 中学校では</p> <p>イ また、その感染による閉鎖施設（学級閉鎖等）の処置をとられた状況について伺います。</p> <p>a 閉鎖施設数（延）及び閉鎖判断（誰が）は b 閉鎖による教育現場での影響は</p> <p>ウ その欠席者（患者など）の医療費について伺います。</p> <p>a 市が把握している医療費総額（通院・入院費など）は</p> <p>エ 予防接種を制度化した場合の経費（市の負担）について伺います。</p> <p>a 小学校6年生児童までの経費は b 中学校3年生生徒までの経費は</p> <p>オ 最後に、これまで市民が求めている任意予防接種費用（インフルエンザ、おたふくかぜ、ロタウイルス）予防接種の公費助成について、市の考えを伺います。</p>	
(2) 島根県知事選挙及び島根県議会議員一般選挙について	
<p>① 平成31年4月7日執行された島根県知事選挙及び島根県議会議員一般選挙の投票数及び投票率について伺います。</p> <p>ア 島根県知事選挙（全体） イ 島根県議会議員一般選挙（出雲選挙区）</p> <p>② その選挙の期日前投票所における投票者数及び投票率について伺います。</p> <p>ア 全体の投票者数及び投票率 イ イオンモール出雲での投票者数及び投票率 ※イオンモール松江の状況</p> <p>③ また、期日前投票所の経費及び効果について伺います。</p> <p>ア 全体の経費及び効果は イ イオンモール出雲での経費及び効果は ※イオンモール松江の状況</p>	

- ④ 最後に、今後の選挙結果の公表及び期日前投票（所）の在り方について、市の考え方を伺います。
- ア 今後の選挙結果、投票結果（投票数・投票率）などの公表の在り方について、市の考えは
 - イ 今後の期日前投票（所）の設置個所数、設置場所（会場）などの在り方について、市の考えは

質問者	19 伊藤繁満
質問事項・質問内容	
(1) 一級河川斐伊川の河床低下抑止対策について伺います	
<p>① 斐伊川流域住民の経済・文化の発展に大きな役割を果たしてきた斐伊川はこれまで、幾多の洪水を経て、あらゆる治水対策が行われてきました。近年に行われた斐伊川治水3点セット事業は平成時代の大きな事業であり、残っている大橋川改修は令和元年に入り今なお続いており、早急な整備完了が求められるところです。</p> <p>斐伊川が典型的な天井川であったにもかかわらず、近年は伊萱堰から下流、森坂大橋付近では極端に河床が低下し、更に下流へ山田橋付近においても15年間で約1.0mは低下しているように見受けられます。更に下流の斐伊川放水路付近、出西岩樋付近、出西頭首工付近においても河床低下の状況が見受けられます。このような河床低下の状況は農業利水など環境面にも影響が生じています。神立橋付近では概ね安定しているように見受けられますが斐伊川は治水に加えて、河川環境の保全、水道用水の供給といった利水の両面があり、多くの住民の経済・文化等を支えています。早急な対策が必要であります。</p> <p>ア 斐伊川の河床低下抑止対策について伺います。</p> <p>イ 斐川町及び斐川土地改良区地域内における安定した農業用水の確保対策について伺います。</p> <p>ウ 農業用水取水に伴う砂堰の築堤費（年間）と農業用水路に流入した堆積土砂量と撤去経費（年間）は概ねいくらか伺います。</p> <p>エ 農地・水・多面的交付金事業の円滑な活用について伺います。</p>	
(2) 人口減少・高齢化社会における消防組織体制について伺います	
<p>① 人口減少・高齢化社会の到来は全国的に生じている問題で、出雲市にとっても少子化現象が生じており、全体では外国人の社会増により辛うじて17万人台をキープしている状況にあります。こうした状況は社会的・経済的な活動に様々な影響が生じており、その対策が急がれています。外国人の雇用に関する事又、ICT社会においてAI（人工知能）等を積極的に導入した経済活動などがあります。</p> <p>現在、住民の安全・安心の柱の一つである消防業務もその波が押し寄せているといえます。今後は、常備消防においてハイテク機器を使用した質的・量的な充実が欠かせないと考えています。</p> <p>ア 常備消防と消防団組織のあり方について伺います。</p> <p> a 本部の組織体制の現状と今後の体制について</p> <p> b 消防団の組織体制の現状と今後の計画について</p> <p>イ 本部及び消防団の車両更新・整備計画について伺います。</p> <p> a 質的・量的充実強化策について</p> <p>ウ 少子化・高齢化に対応した消防団のあり方について伺います。</p> <p> a 本部組織と消防団のあり方について</p> <p> b 外国人の消防活動参加について</p> <p> c 消防団組織について</p>	

質問者	14 渡部 勝
質問事項・質問内容	
(1) 新工業団地整備の選定について	
<p>① 昨年の12月20日の全員協議会において、新工業団地の適地候補選定について進捗状況の説明がありました。市内工業団地分譲率が96.4%に高まったことから新たな工業団地を整備するものです。</p> <p>平成29年度に適地調査を実施し、一次選定で20の候補地が選定され、さらに6つに絞り込み、そして調査の結果、最終的には3か所を適地とされました。そのなかで優先順位を付けてまずは1か所を選定し今後整備に取り組むとのことでした。</p> <p>3か所とは出雲地域、湖陵地域、斐川地域ですが、これについて次の質問をおこないます。</p> <p>ア 工業団地がもたらす経済効果は</p> <p>イ 選考にあたって出雲市全域の雇用状況や地域バランスなどの考慮はされているのか</p> <p>ウ 湖陵地域が3か所の中に選ばれたその理由は</p>	

質問者	24 板倉一郎
質問事項・質問内容	
(1) 女性が活躍する社会の実現について	
<ul style="list-style-type: none"> ① 女性が活躍する社会についての考え方を伺う。 ② 女性が活躍する社会の実現について取り組んできたことについて伺う。また、今後の取り組みについて伺う。 ③ 市役所における女性職員の活躍推進に関する行動計画は平成28年4月1日からの4年間の計画期間であるが、その実施状況および目標の達成状況について伺う。 	
(2) 保育所の待機児童対策について	
<ul style="list-style-type: none"> ① 現在の保育所の待機児童の状況等について、次の点を伺う。 <ul style="list-style-type: none"> ア 子どもが入所できないため、保護者が就労につけていない子どもの数について伺う。 イ 保育所に入所できないため、入所申請を取り下げた児童数について伺う。 ② 10月より幼児教育・保育の無償化が、政府において実施される。その制度の概要および出雲市への影響について伺う。また、自己負担部分については、どのようなのか伺う。 ③ 今後の市の待機児童対策について伺う。また、無償化の影響が大きく出た場合の対応についても伺う。 	

質問者	8 本 田 一 勇
質問事項・質問内容	
(1) 出雲人ってどんな人か	
<p>① 福岡生まれで、大学、社会人と、全国を歩いて来て、出雲人の感想を伺います。</p> <p>ア 積極性はどうか</p> <p>イ チームワーク性（排他的、閉鎖的）はどうか</p> <p>ウ 保守的かどうか</p> <p>エ 話下手が多いかどうか</p>	
(2) 不登校の子供達を救うにはどうすればいいか	
<p>① 不登校の子供は市内にどのくらいいるのか。</p> <p>② その子供達への支援策はありますか。</p> <p>③ 不登校から登校できるようになった事例があれば教えてください。またどのようにして登校できるようになったか教えてください。</p>	